

令和 8 年度 第 24 回 大学院セミナー

令和 8 年 7 月 27 日

分野名 Area of Research	眼科・視覚科学 分野 責任者名(大石 明生) 内線(7345)
演 題 Title	網膜障害の新たな病態概念を求めて —臨床の疑問を自ら検証する—
講 師 等 Presenter	浜松医科大学眼科学教室 教授 兼子 裕規先生
概要 Abstract	「研究」と聞くと特別な知識や才能を持つ人が行うもの、あるいは臨床とは少し離れた世界のものと感じる若手医師も少なくないかもしれません。しかし研究の出発点は、日々の診療の中で抱く「なぜだろう」「本当にそうなのだろうか」という小さな疑問です。演者自身も網膜硝子体手術後に経験する原因不明のシリコンオイル関連視力低下に対する臨床上の疑問から研究を始めました。 シリコンオイル眼の解析を進める中で、硝子体液中の鉄濃度が低下していることを偶然発見し、網膜には鉄が蓄積している可能性を検討しました。この研究は、当初の予想を越えて眼トキソプラズマ症や細菌性眼内炎の研究へと広がっていきました。臨床で生まれた一つの疑問が、基礎研究、他分野との共同研究、海外との連携、さらには知財化へと発展していった一例です。 本講演では、研究テーマの選び方や得られた研究成果だけでなく、仮説どおりに進まなかった経験、論文投稿での苦労、専門分野の異なる研究者との出会いなども含めてご紹介します。研究は最初から明確なゴールが見えているものではありません。目の前の患者さんから得た疑問を大切に、まずは調べてみる、誰かに相談してみる、そして小さく検証してみることが、研究への第一歩になります。 本講演が若手眼科医の皆様にとって研究を少し身近に感じ、「自分も研究を始めてみよう」「大学院に進んでみよう」と思っていただくきっかけになれば幸いです。
開催日時 Date and Time	令和 8 年 10 月 22 日(木) 18:00 ~ 19:00
開催方法 Online/Face to face	開催場所:眼科医局(大学病院本館 10 階)
備 考 Notes	セキュリティカード不所持、場所が不明な方は、下記担当までご連絡ください。 眼科医局 担当:坂井 095-819-7345(内線 7345) kmk0414@nagasaki-u.ac.jp

- ☐ 先端医療科学特論(基礎編)
☐ 先端新興感染症病態制御学特論
☒ 日本語(Japanese)
☒ 対面(Face to face)

- ☒ 先端医療科学特論(臨床編)
☐ 先端放射線医療科学特論
☐ 英語(English)
☐ オンライン(Online)